



THE SHOW MUST GO ON

～ショーマストゴーオン～

ROOM SERVICE by John Murray and Allen Boretz

作:ジョン・マーレイ アレン・ボレッツ 訳:小田島恒志 演出:堤 泰之

夢追うピンボナーなショーマンたちの
汗と笑いとウソと涙の大奮闘劇!



加藤健一



新井康弘



辻 親八



奥村洋治
(ワンツーワークス)



林 次樹
(Pカンパニー)



土屋良太



伊原 農
(ハイランド)



千葉健玖
(Studio Life)



加藤 忍



岡崎加奈

STORY

ブロードウェイ、とある二流ホテルの一室。ここには演劇プロデューサーのゴードン・ミラー(加藤健一)が暮らしている。彼の劇団は今、新人作家の脚本でもうすでに7週間も稽古を積んでいる芝居がある。芝居の出来は上々。いつ初日を迎えても良いくらいだけど、足りないものがあと一つ——そう、ショービジネスを成功させるために重要な多額の資金だ。だがミラーの劇団は経済的に大ピンチ。今すぐスポンサーを見つけなければ、初日を迎えるどころか、このホテルから追い出されてしまう。だって、ミラーのツケで22人もの劇団員たちがこのホテルに内緒で飲み食い寝泊りしているのだから。ホテルの支配人も黙っちゃいない。ぶ厚い請求書を突きつけて「支払えないなら出て行け!」とうるさくミラーにつきまとう。そうとなったら残された道は

ただ一つ、いつものあの手、トンズラだっ!!
そう思ったその矢先、都会暮らしを始めようと田舎から出てきた新人作家がミラーを頼ってやってくる。演出家と制作助手も荷物をまとめてミラーのもとへ転がり込んできた。次から次へと降りかかる面倒な事件。なんてこった、一体いつになったら芝居は打てるのか?
「この芝居が当たったら、ちゃんと支払います。だからそれまで待って…。」
そこへまさに渡りに船、ついにスポンサーが現れた!
だが、世の中そんな甘いワケがない!!
崖っぷちからの起死回生!?ミラーと劇団の運命やいかに!?



STAFF 美術:乗峯雅寛 照明:古宮俊昭 音響:秦 大介 衣裳:竹原典子 ヘアメイク:川村和枝 舞台監督:大山慎一 製作:加藤健一事務所
宣伝美術:市川きよあき事務所 宣伝写真:石川 純

2021 9月18日(土) 昼13:00開演(12:15開場)
夜18:00開演(17:15開場)

※各公演終演後～加藤健一氏ほか出演者によるアフタートーク実施予定。

京都府立府民ホール“アルティ”

TEL:075-441-1414 〒602-0912 京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590-1 <http://www.alti.org>

●チケット(全席指定・税込)

前売:5,500円(5,000円)

当日:6,050円(5,500円)

※()内は、アルティ・メイト会員優待価格

チケット発売	
一般発売	: 2021年7月31日(土)10:00～
アルティ・メイト 会員先行発売	: 2021年7月25日(日)10:00～

●お問合せ 京都府立府民ホール“アルティ” TEL:075-441-1414

(電話予約 9:00～18:00 ※発売日当日は10:00～ ※第1・第3月曜日休館)

●チケット取扱

京都府立府民ホール“アルティ”…… 075-441-1414

京都府立文化芸術会館…………… 075-222-1046

チケットぴあ…………… <https://w.pia.jp/t/katoken/>(Pコード:505-729)

ローソンチケット…………… <https://l-tike.com>(Lコード:54499)

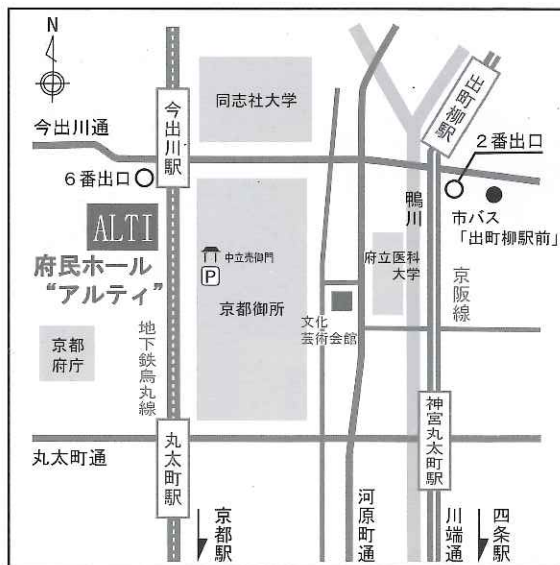
★アルティHPから24時間チケット購入可能! www.alti.org

●主催 創く公益財団法人京都文化財団・株式会社コングレ 共同事業体>

【ご来場のお客様へのお願い】

- ご来場前には、十分な体調管理をお願いします。
- 体調を最優先いただき、発熱や咳などの症状がある場合はご来場をお控えください。ホールへご入場の際には、サーモグラフィ等による体温チェックを行います。発熱などの症状が認められた場合(37.5度以上)には、入場をお断りします。
- ご入館の際には、手指消毒をお願いします。また館内ではマスクを常時着用してください。
- 開場前の整列時や入退館時のソーシャルディスタンスの確保をお願いします。

アルティ・メイト
会員募集中
詳しくはHPを
ご覧ください。



- 地下鉄烏丸線「今出川駅」⑥番出口より南へ徒歩5分
- お客様用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
- 未就学児の入場はご遠慮ください。

お客様みなさまへ

新型コロナウイルス感染症による行政機関の方針を受け、公演日程や観劇可能客席数、観劇環境、アフタートークの開催など、通常の公演形態からやむを得ず内容を変更する場合がございます。